

地域連携教育研究

第3号

2018年9月

京都大学

学際融合教育研究推進センター

地域連携教育研究推進ユニット

目次

論文

フランスにおける教職への人材誘導策 —EAP（教員志願生／教員見習生）制度の成果と課題—	服部 憲 児 … 1
学社連携事業における質の確保と評価 —X市立B小学校における「放課後子供教室」を事例として—	宮村 裕 子 … 14 西川 潤
米国連邦教育政策におけるエビデンス要求の変遷 —エビデンス要求の厳格化から緩和に向けて—	桐村 豪 文 … 35
エジプト高等教育における国家教育質保証・適格認定機構の役割と課題	中島 悠 介 … 48
「特別の教科 道徳」の質的転換に関する一考察 —人性教育(Character Education)の充実を図る韓国の取組みを手がかりに—	全 京 和 … 61
インド中等教育における「Work Experience 教育」 —学問的知識・多様なスキル・価値観の構築に着目して—	塩山 皐 月 … 74
研究ノート	
大学と中学校が連携した教育活動における『事例のメタ分析』を用いた研究の可能性	江上 直 樹 … 87
これからの高大接続制度改革の実現手法への試み —中国における AP の導入に注目して—	郭 曉 博 … 94
学習者中心の学級づくりに向けた特別活動と学級経営に関する予備的考察 —「ヨコ」と「ナナメ」の関係の質を高める「ピア」活動を手がかりに—	全 京 和 … 101
高大接続における早期履修制度の類型 —Advanced Placement と類似制度—	西川 潤 … 108
投稿規定	115

『地域連携教育研究』第3号投稿規定

年報『地域連携教育研究』編集委員会

《編集規定》

1. 本誌は京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの機関誌として、原則として毎年度発行する。
2. 本誌には、「研究論文」、「研究ノート」のほか、本ユニットの実践活動に関する記事等を編集掲載する。
3. 「研究論文」は、学術論文としての水準を満たすものとする。「研究ノート」は、「研究論文」に馴染まない「実践報告」「文献紹介」「海外の事例紹介」「時事評論」等を内容とする。
4. 本誌の編集のために編集委員会をおく。
5. 本誌に論文等の掲載を希望する者は、所定の論文投稿規定に従い、原稿を編集委員会に送付するものとする。
6. 投稿された論文等の掲載は、レフェリーによる査読を経て編集委員会が決定する。
7. 掲載される論文等について、編集委員会は若干の変更を加えることができる。ただし、内容に関して重要な変更を加える場合は、執筆者との協議を経るものとする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は本ユニットに帰属するが、執筆者が自己の著作物を利用する場合には、本ユニットの許諾を必要としない。採択された論文等はオンラインで公開される。
9. 論文等の印刷に関して特別の費用を必要とする場合は、執筆者の負担とすることがある。

《投稿規定》

『地域連携教育研究』への投稿者は、次の規定に従う。

1. 投稿者は、(1) 京都大学大学院教育学研究科比較教育政策学講座の構成員（教授、准教授、講師、助教、大学院生および研究生）、(2) 京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの構成員（教授、准教授、特定教員、特任教員および研究員）、(3) (1) または (2) に該当する者以外で、編集委員会が特に委嘱または承認する者。
2. 「研究論文」は単著論文と共著論文を選択することができる。「研究ノート」は単著のみとする。
3. 第一執筆者としての投稿は、論文、研究ノートそれぞれ1本のみを上限とする。例外として、他の者を第一執筆者とし、第二執筆者以下で執筆する場合は、論文、研究ノートを問わず2本目の参加が認められる。ただし、その場合も2本を超えて執筆することはできない。
4. 「研究論文」および「研究ノート」は未発表のものに限る。ただし、口頭での発表およびその配布資料については、その限りではない。

5. 投稿者は、論文原稿の執筆に当たり、次の規定に従う。
 - (1) 論文原稿は横書きとし、ワープロソフト（Word または一太郎）で作成する。
 - (2) 表題、副題、執筆者名、本文、見出し、図、表、注、引用文献を含めて、単著論文の場合は12頁以内、共著論文の場合は24頁以内、研究ノートの場合は6頁以内とする。
 - (3) ページ設定を、余白「上30ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリ」、46字×37行とすること。
 - (4) 表題、副題、氏名に7行をとり、本文は8行目から始める。
 - (5) 表題は中央寄せ、明朝体14ポイント、副題は中央寄せ、明朝体12ポイント、執筆者名は右寄せ、明朝体12ポイント、本文は両端揃え、明朝体（和文）またはCentury（欧文及び算用数字）10.5ポイントとする。見出し、図、表、注、引用文献に関する書式は任意とする。ただし、図及び表は、(3)の余白指定に従うこと。

6. 投稿者は、論文原稿等の提出にあたり、次の規定に従う。
 - (1) エントリーの締め切りは、2018年7月20日（金）17時とする。共著論文の場合は、第一執筆者が代表してエントリーシートを提出すること。
 - (2) 論文原稿等の提出締め切りは、2018年8月31日（金）17時とする。提出物には以下の4点が含まれる。①論文原稿、②英語による論文題目、執筆者名及び所属、③英文要旨（46字×18行）④英文要旨を日本語に訳したもの。
 - (3) 論文原稿は、期日までに年報編集委員会（unitnenpo@gmail.com）にメール添付のPDF形式で提出する。

『地域連携教育研究』第3号 編集委員会

編集委員長

高見 茂 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任教授)

編集委員

杉本 均 (京都大学大学院教育学研究科 教授)

南部 広孝 (京都大学大学院教育学研究科 教授)

服部 憲児 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

編集幹事

西川 潤 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程)

英文校閲

井上 幸 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任研究員)

執筆者紹介

- 服部 憲児 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)
宮村 裕子 (畿央大学教育学部 准教授)
桐村 豪文 (弘前大学教育学部 講師
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任准教授)
江上 直樹 (福知山公立大学地域経営学部 助教
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任講師)
中島 悠介 (大阪大谷大学教育学部 講師
／京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任講師)
郭 暁博 (京都大学大学院教育学研究科 助教)
全 京和 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任助教)
西川 潤 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程)
／日本学術振興会特別研究員)
塩山 皐月 (京都大学大学院総合生存学館 博士課程)

地域連携教育研究 第3号 (非売品)

2018年9月30日 印刷

2018年9月30日 発行

編集・印刷 京都大学大学院教育学研究科
学際融合教育研究推進センター
地域連携教育研究推進ユニット
京都市左京区吉田本町 (〒606-8501)
TEL 075-753-3014

印刷 株式会社 太洋堂
京都市右京区西院上花田町4
(〒615-0007)
TEL 075-323-9329
FAX 075-322-4576
E-mail: rms@love.co.jp

Journal of Education and Research for Regional Alliances

Vol. 3

CONTENTS

Article

- A Study on the Support System for Teacher Candidates in France:
Outcomes and Problems of the EAP (emploi d'avenir professeur / étudiant apprenti professeur) System
Kenji HATTORI ... 1
- Quality Assurance and Evaluation in Collaborative Projects by School Education and Social Education:
A Case study of "Children's After School Activities" at B Primary School in X City
Yuko MIYAMURA ... 14
Jun NISHIKAWA
- "Evidence" Requirement Change in the Federal Educational Policy in the United States:
A Shift from a Strict Evidence Request Toward a Flexible Standard
Takafumi KIRIMURA ... 35
- The Roles and Challenges of "National Authority for Quality Assurance and Accreditation in Education
(NAQAAE)" in Egyptian Higher Education
Yusuke NAKAJIMA ... 48
- A Consideration of Qualitative Changes of Moral Education as a Special Subject:
Focusing on the Efforts for Enhancing Character Education in South Korea
Kyoung-hwa JEON ... 61
- Work Experience Education in Secondary Schools in India:
Focusing on Facilitating Disciplinary Knowledge, Multi Skills and Development of Value
Satsuki SHIOYAMA ... 74

Notes

- The Study on Effectiveness of "Meta-Study of Qualitative Research" Applied to Educational Cooperation
Between Secondary Schools and Colleges.
Naoki EGAMI ... 87
- An Attempt to Realize the Future Reform of Articulation Between Upper Secondary Schools and
Universities: Focusing on the introduction of AP in China
Xiaobo GUO ... 94
- A Preliminary Consideration of Special Activities and Classroom Management for Learner-centered
Classroom Building: Focusing on "Peer" Activities Improving the Quality of Horizontal and Diagonal
Relationships
Kyoung-hwa JEON ... 101
- Types of Accelerated Learnings for Articulation between High Schools and Colleges:
Advanced Placement and Similar Systems
Jun NISHIKAWA ... 108

Center for the Promotion of Interdisciplinary Education and Research

Education and Research Unit for Regional Alliances

Kyoto University

September 2018